グローバルイノベーション創出支援事業 平成29年度上半期の主な取組みについて

Tech In Asia Tokyo 2017

平成29年9月27日~28日

目的 · 概要

・アジア最大級のテクノロジーイベントである「TECH IN ASIA TOKYO 2017」に、OIHがブース出展し、大阪市が支援している起業家とともに、来場している国内外のスタートアップ、大企業、VC等投資家に対して活動をPR

参加•実施状況

- 来場者 約3000人(2日間延べ)、ブース出展者 134社
- ・海外の著名な投資家等に対してOIHのプロモーションと情報交換を行った。
- ・グローバルに活動するベンチャー企業と接触し、大阪市が主催する国際会議「Hack Osaka」で開催するピッチコンテスト「Hack Award 2018」への登壇を誘導するなど、本市施策をPRした。



WEBサイトのリニューアル

平成29年9月1日~

目的·概要



起業の理由や、成功と失敗。

ゼロから新たなビジス入を立ち上げた起幕家と打造するのはま 社会課題を耐止したい」という、ハーターとしての意思で す。アイデアや技術は優れていても、事業化に成功できるかは 来現です。そんは大きなチャレンジセした起意形にインタ ゼニーし、ここにを書きての合節が扱いに迫ります。これから 起煙を考える方にも、事業をプレイクスルーしたい方にも、参 幸になるメタビーンがたくさんあるはずです。

- 「グローバル」、「イノベーション」というテーマをより濃く情報発信するとともに、ユーザーが知りたい情報にスムーズにアクセスできるようリニューアル。
- ・OIHとつながりのあるメンター陣や、これから起業する人たちの参考となるよう 成功起業家を紹介するなど、新規コンテンツを充実。



起業家人材を増やす取組み



Global Academy Osaka

平成29年4月29日~9月3日(起業家コース計13日、学生コース計15日)



目的・概要

- ・大学生と若手起業家とが一緒に、社会課題の解決に向けた、ビジネスモデルの構築に取り組む。
- ・起業経験者等多彩な講師陣、大阪の歴史や異文化の魅力を体験できるプログラム等を提供。
- ・志を同じくする仲間との出逢いを通じて、社会を牽引するリーダーシップを身に付ける

参加• 実施状況

- ・一般の部に30名、学生の部に30名が参加。
- ・合宿研修、企業訪問、ハッカソン、海外起業家との交流、事業プレゼンテーション等を実施。

戦略的企業家のためのアントレプレナーシップ・カリキュラム

平成29年8月4日~平成30年3月23日(計16日)

2017-2018 795 b 79

目的 · 概要

- ・科学技術のシーズを基礎に、アントレプレナーシップを通じたイノベーションの創出と、 その担い手であるイノベーターの輩出をめざす。
- 科学技術の事業化、知財、ビジネスプラン構築、財務計画など幅広く学ぶ。
- ・神戸リサーチコンプレックス事業の人材育成事業がOIHとコラボして実施。

参加• 実施状況

- •35名参加
- ビジネスモデル構築、科学技術の事業化、知財、財務計画など幅広い講義。
- ・講義は、神戸大大学院イノベーション研究科の教員を中心に実施
- ・3月の事業発表会を経て、来春には海外研修も予定。

グローバル展開に向けての取組み



500 Osaka Boot Camp

平成29年4月11日





20,209

目的·概要

- ・米国シリコンバレーの著名なアクセラレーターである500 Startupsが全国3か所 (東京、大阪、福岡)で体験プログラムを開催。
- ・シリコンバレー流の支援プログラムを体感し、グローバル市場を目指す意欲的な起業家のスキルアップを図る。

参加・実施状況

- 講義86名、個別メンタリング21社が参加。
- •500 Startupsのメンターによる講演とともに、事前応募で選ばれたスタートアップの個別メンタリングを実施。シリコンバレーのメソッドを体感した。

Challenge Cup 西日本予選

平成29年6月15日 事前説明会、7月26日 オリエンテーション、ピッチコーチング、 7月27日 西日本予選



・AI・ロボティクス・ブロックチェーン・自動化など、様々な新しい技術を活用し、社会課題やインパクトのある課題解決に挑戦しているスケーラブルなスタートアップを発掘するために、世界約75都市で開催されるピッチ・トーナメント。東日本と西日本から、1組ずつ優勝者を決め、米国で開催されるグローバルファイナルの出場者を選抜。

参加・実施状況



- 参加者118名、ピッチ登壇14社。
- ・出場スタートアップは、米国のインキュベーター・VC「1776」からのピッチコーチング、投資家等から構成されるメンター陣とのメンタリングセッションを経て、英語でピッチを実施した。
- ・優勝者には、ニューヨークで開催されるグローバル・ファイナルに参加するための航空券と宿泊先が提供された。

グローバル展開に向けての取組み



ジェトロ・イノベーション・プログラム(JIP)深セン

目的 · 概要

・イノベーティブな技術・製品・ビジネスモデルを有する中堅・中小・ベンチャー企業の海外へのビジネス展開を支援するプログラムであり、日本国内特許・実用新案・意匠・商標といった知的財産権を有した中堅・中小企業が対象。

・ブートキャンプ・メンタリング・ピッチに参加した企業から深センHigh Tech Fairにおいて出展する企業を決定。

深セン側パートナー: 深セン清華大学研究員

深圳市政府と清華大学が50%ずつ共同出資して設立。「産学研資」機能をもつ事業単位(政策実施機関)で、技術交流、知財運用分野に対して、20年以上の経験を表示する。

野において、20年以上の経験を有する。

参加・実施状況

ブートキャンプ・メンタリング・ピッチ: 平成29年8月30日、31日、9月8日

参加企業:13計

深センハイテクフェア出展 11月15日から17日、うち15日はピッチ

参加企業:10社 (うち大阪5社、東京3社、岡山1社、神奈川1社)

主な分野:電機電子、IoT機器、先端素材、リハビリ用VR機器や、地震探知機等

参加目的:量産化や資金調達、サプライチェーン発掘等



グローバル展開に向けての取組み



AngelHack Osaka 2017

目的 · 概要

・AngelHackは、2011年にアメリカで始まり、50都市以上で開催されている世界最大規模のネットワークを誇るハッカソン。「世界に通用するスタートアップが生まれる場をつくる」というテーマの元、AngelHack Osaka実行委員会が立ち上げられ、大阪で初開催。

参加• 実施状況

- ・エンジニア38名、プランナー20名、デザイナー12名、その他2名の合計72名が参加。
- ・アイデアソン、チームビルディング(15チーム組成)の後、平成29年6月17日~18日の2日間に渡り、 学生・社会人・業界の枠を超えた活発な開発・議論が行われた。
- ・11月2日にシリコンバレーにて決勝。



その他

- ・ピッツバーグで開催されたものづくりハードウェアカップ決勝に参加。NYのものづくり コミュニティとの連携合意
- ・シンガポールで開催されたGet in the Ring(オランダの団体が主催の国際ピッチコンテスト) の決勝に参加及びシンガポールの起業家コミュニティACEとの連携合意
- ・英・UCLにおいて、大阪でのイノベーションエコシステムの構築に向けた取組みを講演
- ・スイス大使館・スイス郵政公社とのオープンイノベーションイベント
- ・イスラエルの若手起業家との交流及び自動車安全走行技術のスタートアップ及び そのアクセラレーターとのピッチイベント



新事業創出をめざした大学の技術シーズの事業化支援



大学の産学連携本部とのネットワーク構築

目的 • 概要

- ・大阪・関西に存在する優れた技術の探索が可能となるよう、大学の産学連携本部との連携体制を構築
- ・最新の研究成果や有望なシーズ情報を収集し、OIHユーザーとの出会いの機会を創出することでプロジェクトの 創出につなげる

参加•実施状況

・5~6月に大学や関係機関を対象に、大学発ベンチャー創出に向けた活動や課題、OIHとの連携の可能性について意見交換を実施 【訪問先】

大阪大学、大阪市立大学、大阪府立大学、立命館大学、大阪科学技術センター、JST

【主なヒアリング項目】

- ・事業化(ベンチャー立上げ)の可能性のある有望なシーズ、シーズの把握状況
- ・既存の大学発ベンチャーが抱える課題、事業化支援(ベンチャー設立)の課題
- ・OIHでの研究シーズや大学発ベンチャーを集めたイベント開催の可能性

【ヒアリング結果】

- 各大学ともに、研究シーズの事業化にあたっての課題は、事業化を志す研究者及び経営人材が不足
- 研究者がベンチャーを立ち上げることに懐疑的な大学もあるが、積極的に推奨し、支援に取り組んでいる大学もある。
- ・各大学共に、大学発ベンチャーの課題は、資金調達(阪大以外)、経営人材不足、販路拡大
- ・阪大から、大学発ベンチャー企業の顧客探索のためのマッチングイベントについて要望があった
- ・ヒアリングの結果、OIHでのイベント開催の希望があった大阪大学及び大阪大学ベンチャーキャピタル(OUVC)と協議を重ね、OUVC主催によるテックミーティングを開催することとなった(次頁参照)
- ・さらに、技術シーズを活用して事業化する可能性のある研究者等を抽出し、適切な支援者につなげるなどの支援を行うことで、プロジェクトの事業化を推進している

新事業創出をめざした大学の技術シーズの事業化支援



大阪大学ベンチャーキャピタル テックミーティング

目的·概要

- ・阪大100%出資のOUVCでは125億規模のファンドを運用し、これまでバイオ、創薬、材料、IT、フォトニクスなど最 先端の科学技術ベンチャー10社に投資している
- ・OUVCによって厳選された投資先と新技術に興味のある企業とのマッチングを目的とした交流イベントを実施した

参加•実施状況

・参加者の集客にあたっては、マッチングの精度を高めるため、OIHユーザーから 対象者を抽出して、対象者を限定した

【概要】

開催日時: 2017年9月26日

プログラム: ①OUVC投資先企業によるショートプレゼン(8社×5分)

②ポスターセッション、交流会

参加対象: 大手・中堅メーカーの新規事業担当者、オープンイノベーション担当者

大手・中堅の技術系商社

中小製造業経営者大企業の経営幹部、中小企業の経営者など

参加者数: 46名

参加企業:マイクロ波化学株式会社、株式会社ジェイテックコーポレーション、

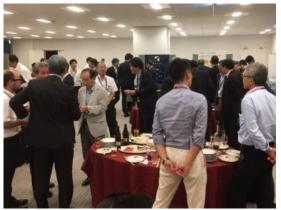
株式会社マトリクソーム、株式会社AFIテクノロジー、

株式会社chromocenter、Bioworks 株式会社、

KOTAIバイオテクノロジーズ株式会社、PGV 株式会社

・今後は、販路拡大のためのイベントを引き続き開催していくともに、経営人材不足に 対応するためのイベントについて検討を進める





OIHシードアクセラレーションプログラム



目的 · 概要

関西の起業経験者、オープンイノベーションを志向する大企業、ベンチャーキャピタル、メディア等と連携して支援し、創業前後(シード期)のベンチャー企業の事業化を加速(アクセラレーション)させ、関西のイノベーション創出力の強化をめざす概要

- ・クール4ヶ月のプログラムを受講
- ・ビジネスモデルのブラッシュアップを行い、事業連携または資金獲得を目指す
- ・メンター陣と事業に対する個別メンタリング、ディスカッション・勉強会、ネットワーク構築機会などのメニューを受講
- 投資や事業連携の実施等を訴求するデモデイを実施

参加•実施状況

第3期:5月から9月 支援企業数:10社

主な実施イベント: VCキャンプ、合宿、先輩起業家とのグループディスカッションン、ベンチャー企業向け勉強会、

メンター交流会、デモデイ

実績: 資金調達 3件、8.500万円 (これまでに計3期、30社の支援を実施、総額16億円を超える資金調達に成功)

大企業との事業提携 1件、また15件が検討中

メディア露出件数:16件







OIHシードアクセラレーションプログラム



第3期採択企業名	事業内容(要約)
(株)AIVICK	オフィスワーカーが健康的な食事をとることができる簡易食堂サービス"置き弁"サービス。将来的には個人の健康情報や、食習慣、生活習慣などをひもづけ、AIによりひとりひとりに合った食事メニューや健康行動を提案するウェルネスプラットフォーム事業の展開をめざす
(株)アロマジョイン	映像や音響の変化に合わせて、香りの高速切り替えやブレンドして様々な香りを噴霧する制御装置「Aroma Shooter」とデジタルサイネージを組み合わせて、新たなセールスプロモーション領域を創造する
(株)セームページ	世界初の海外、国内の旅行者がカフェや店舗などに荷物をあずけ、"てぶら観光"を実現するマッチングサイト
(株)トワール	子どもをはじめとした学習者の特性(IQ,EQ)を測り、その学習者にマッチする学び場 (塾、習い事)を選定するサービス
(株)ハート・ オーガナイゼーション	簡単、安全に医用画像を共有しながら、治療や手術のノウハウを医師同士で簡単に 共有、相談できる「名医を育てるクラウドサービス」
quatre(株)	企業の消費者ターゲットとホテルなどの施設の顧客属性のデータを自動マッチングし、 簡単にターゲティングサンプリングを創出する商品サンプル配布のオンラインマッチ ング「air catalog」
グリーンコンチネンタル(株)	植物の状況と置かれている環境を把握できるデバイスを活用した、植物の法人(プロバイヤー)向け高速購買アプリ
ネクストイノベーション(株)	遠隔医療サービスを希望する患者と医師をマッチングするサービス。(EDやAGAなど 男性の悩みに特化した「オトコノスマ診断」からサービスをスタート。)
Baseconnect(株)	法人営業を支援する企業情報データベースを提供。将来的には成約率の高い企業 をリコメンドする機能の付加をめざす。
未来電子テクノロジー(株)	学生が将来の仕事選びに失敗しないための仕事選びの選択肢を提供するとともに、 中小企業に若手社員を定着させるための資産の構築を行うサービス 10